

平成20年度麻布大学同窓会和歌山県支部総会活動報告

こんにちは麻布大学同窓会和歌山県支部です。

当支部会員は24名で、ご多分に漏れず若い会員の入会が少ないため、高齢化が進んでおります。毎年支部同窓会を7月頃に細々と開催しておりますが、今年は、今年3月退官された赤堀先生ご夫婦と県内出身で薬理学教室の大学院在学中の福永君をお招きし、7月10日木曜日という平日であったが、会員12名と招待者3名の出席で、盛会に支部同窓会が開催出来ました。

はじめに、山野洋支部長（昭和46年卒）から、七夕と同じように毎年1回開催している支部同窓会ですが、今回赤堀先生をお招きし、開催できたことを感謝し、麻布大学の誇りと良き伝統の同窓会の活動に積極的に御協力いただき、今夜は大いに語り合ひましょうという開会挨拶で同窓会が始まりました。赤堀先生からは麻布大学の現況や先生の近況についてお話をいただき、大岡興会員（昭和39年卒）の乾杯の発声で酒宴が始まりました。

当日はフリードリンクであったことから、アルコールが入るとボルテージが上がり、同級生の動向や趣味の話などに花が咲き、時間を忘れ多いに盛り上がり、あっという間に2時間が経過し、最後に全員の記念写真を撮り、喜田聡一郎前支部長（昭和41年卒）の閉会の挨拶で宴を閉じました。

なお、和歌山県では、平成16年7月に歴史・文化の宝庫であります「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録され、海、山、川、温泉と数多くの観光資源にも恵まれております。赤堀先生も、熊野古道など紀南地域の観光や温泉を堪能されてお帰りになるとお聞きいたしました。全国の同窓生の皆様方におかれましても、近くにお越しの節は、ちょっと足を伸ばしていただき、是非和歌山の文化と歴史にふれて頂ければ幸いと存じます。以上、簡単ですが活動報告といたします。 (事務局 上田)

